

なんと幸いなことでしよう。その力があなたにあり
心の中に シオンへの大路のある人は。

彼らは涙の谷を過ぎるときも そこを泉の湧く所とします。
初めの雨も そこを大いなる祝福でおおいます。

詩篇 84 篇 5, 6 節

本日は午後、講演会「グリーンフケア」を
開催します。私たちは生涯において様々な
喪失を経験し、そこには深い悲しみと痛み
が伴います。それは避けられないことであ
り、世にあっては自然なことです。そのよう
な時に適切な援助を得ると人は回復し、悲
しみから立ち直り、人生を前向きに捉え直
すことができます。しかし、適切な援助がな
いと心には深い傷が残ります。そして、それ
からの人生で本人や周囲の人を傷つけるこ
とが起り得ます。グリーンフケアは深い悲
しみを経験した人に寄り添い、援助するこ
とです。

人が適切な援助を得るならば、深い悲し
みを伴う喪失体験もその人の人生を彩り豊
かにするものとして意味づけられます。

この世界には「失って初めて知る価値」があ
ります。愛する人や大切な者を失う経験は
大きな痛みです。けれども、適切な援助を受
けてその痛みを受け止めることができる
それによつて得るものもあるのです。

詩篇 84 篇は多くの人から「最も美しい
詩篇」と言われます。心から主の宮を慕い、
主を礼拝することの幸いを歌う作者の思い
があふれています。ところが、そのような熱
い思いとは裏腹に、背景には深い喪失があ

ると言われます。ダビデが敵に追われて荒
野を彷徨った時なのか、それともバビロン
捕囚で故郷から遠い異国へ連れ去られた時
のことなのか、詳細は定かではありません
が、エルサレムの主の宮に行くことが叶わ
ない悲しみの中でこの詩篇は詠まれました。
しかしそこで作者は知るので。たとえ
エルサレムの宮に行くことが叶わなくても、
主に心が結びついているならばそれがどん
なに大きな望みであるかを。目に見えるも
のはいつか失われます。しかし主は決して
失われず永遠に私たちを支えてくださいま
す。そのことに気づいたとき、作者は苦難の
中でも喜びを得ました。それは「初めの雨」、
乾季で乾燥しきったイスラエルの大地を潤
す恵みの雨のようです。初めの雨が地を潤
し実りをもたらすように、神の恵みは渇い
た心を癒やし人生に実りを与えます。(泰)

■霊修会人数報告

*各シオンの礼拝堂での出席者数の合計
(カッコ内は礼拝・聖会の開催時刻に
同時にインターネットで視聴してい
た件数)

合同礼拝 72名(83件)

聖会Ⅰ 49名(75件)

聖会Ⅱ 40名(63件)

■外部集会のご案内

JHA 関東聖化大会オンライン聖会

日程 10月19日(火)

テーマ 主の愛の御手の中で

講師 島津吉成師

(日本ホーリネス教団 前委員長)

《聖会時間》

聖会Ⅰ 午後2時～3時 15分

創世記32章22～32節

「新しい人へ」

聖会Ⅱ 午後4時～5時 15分

創世記45章1～15節

「摂理の神に導かれて」

※聖会Ⅱでは神学生特別賛美があります。林修養生も参加します。

【消息 報告】

・病床の兄弟のために祈りください。
お体を弱めている方々があります。コロ
ナ禍でお見舞いすることも難しい状況で
すが、祈りをもって支えましょう。